

安全でゆとりのあるまちづくり

昨今、個人の自動車保有率は年々高くなり、それに伴い交通渋滞は悪化の一途をたどっています。

福岡市においても、天神地区を中心として慢性的な渋滞に悩まされ、特に交通量が集中する時間帯においては、公共の交通機関であるバスにも影響が出ており、仕事や買い物等で天神を多く利用する私たちにとってはあまり好ましくない状況であります。また、夜間の中洲地区はタクシーの違法駐車が続を絶たず、天神・中洲両地区ではバス停にタクシーや一般車両が停車しているためバスが停まれず、結果通行車線を塞ぐことになり、渋滞の一因になっていると思われれます。福岡市民として、一向に交通渋滞が解消される気配どころか、ますますひどくなる環境を改善したく、住民からの反対、現実性や経済的なことは二の次にして、いくつか解消方法を考えてみました。

1) パークアンドライド

現在全国的に試験がおこなわれており、また県内においても太宰府市で試験されていた「パークアンドライド」をこの天神地区においても実施する。福岡市はバスの運行状況が他都市に比べて非常に便利なため、バスと地下鉄の両機関で対応する。

問題点：周辺部に大型の駐車設備がないため、まず駐車場の整備が必要である。

2) 車両の進入禁止

思い切って、公共交通機関、搬入業者および身障者以外の車両の乗り入れを全面的に禁止する。タクシーは台数を制限し、タクシー乗り場以外には駐車できないように徹底する。

問題点：周辺道路が混雑するおそれがあるため、周辺道路の整備が必要。また、必ず抜け道があるため、一般車両の乗り入れを取り締まる必要がある。

3) 中心部乗り入れ車両からの通行料徴収

中心部への乗り入れは許可するが、通行料を徴収することにより通行量の減少を促す。最近、ロンドンでも実施されることになったように乗り入れる車両を前もって制限する方法もあるが、取り締まりが大変であ

と思われるため、原則は全車両通行可能とする。

問題点：高速道路と同様、通行料徴収時に別の混雑が発生し渋滞の原因となることが予想されるため、対策が必要である。

4) 動く歩道の設置

車両進入禁止によって、荷物が多い人、身障者他移動が困難になる可能性があるため、動く歩道をメインストリートに張り巡らす。全ての人にとっても便利になると思われる。

5) スクランブル交差点及び右折レーンの設置

最も実現可能な案である。横断歩道歩行者の多い地区であるため、横断歩行者待ちが渋滞の一因となっており、全ての横断歩道をスクランブル交差点にすることで少しは解消されるのではないか。また、道路が狭いため車線数が少なく、大変かもしれないが全ての交差点に右折専用レーンを設け、流れをスムーズにする。

以上、勝手な意見を述べさせていただきましたが、何より道路事情の改善を願っています。